

平成19年10月15日、五條市は市制施行50周年を迎えました。

市では10月14日、五條市市民会館大ホールにおいて、市制施行50周年式典を挙行了しました。

式典では、シャンソン歌手の奥田真祐美さんの「ときめきコンサート」でオープニングを飾った後、五條市の50年のあゆみを綴ったビデオが上映されました。

式辞で吉野市長は、市勢発展のために尽力された皆さんに謝意を表しました。また、各界から招いた来賓を代表して、荒井正吾奈良県知事、田野瀬良太郎衆議院議員、秋本登志嗣奈良県議会議員をはじめ代表者が祝辞を述べ、市制施行50周年を祝いました。



荒井正吾奈良県知事



田野瀬良太郎衆議院議員



秋本登志嗣奈良県議会議員



歌で花を添えた奥田真祐美さん

市制施行50周年記念
五條市市勢要覧を発行しました



市勢要覧

五條市では、市制施行50周年を記念して、五條市市勢要覧2007「50年目の五條に『あつ。』」を制作しました。

誕生50年を迎えた五條市の再発見にお役立てください。

■問合先

秘書課広報係(内線351)

ごあいさつ



五條市議会議長
寺本 保英

菊花薫る好季節に五條市制五十周年を迎え、ここに市民の皆様方とも心からお慶びを申し上げます。

本市は、昭和三十二年十月十五日、宇智郡五條町、牧野村、北宇智村、宇智村、大阿太村、南阿太村、野原町、阪合部村の八か町村の合併により誕生し、三十四年一月に南宇智村が合併、以来半世紀、豊かな自然と伝統に育まれた五條市では、昭和四十九年に第一次の五條市総合計画を策定し、「緑と水と人情に恵まれた、豊かで住みよい産業・文化・田園都市」を目指したまちづくりを進めてまいりました。

さらには、一昨年の九月二十五日に西吉野村、大塔村との合併で現在の市政進展の地域基盤を確立し、地方分権社会の創造に向けては、「豊かな自然と歴史が織りなす、なごみとロマンとふれあいの創造都市」を新五條市のまちづくりの将来像に設定しました。

しかしながら、近年の少子高齢化や急激な社会経済情勢の変化など、地域社会や行政を取り巻く環境は極めて厳しいものがあり、真の地方分権改革時代に際しましては、創意と工夫にあふれたまちづくりが求められるとともに、従来にも増して的確な対応で諸施策の実現を図っていく責任があります。

市議会といたしましても、市制五十年の歩みを振り返り、脈々と受け継がれてきた先人の遺産をさらに引き継ぎながら、市行政とともに未来に向けての英知をすべて結集し、愛する五條を一層明るく、魅力ある住みよいまちにするため、より一層の努力を傾注する所存であります。

皆様におかれましては、今後とも格別のご協力とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。市制五十周年記念のごあいさつといたします。